

農林中央金庫の 価値を生み出すビジネス

当金庫が掲げているパーパスや中期ビジョンの実現に向けて、各ビジネス領域が目指していること、その具体的な取組み、そして「生み出す価値とは何か」について紹介します。

食農ビジネス	33
リテールビジネス	37
投資ビジネス	41
サステナビリティへの取組み	45

Q 農林中央金庫は、どのようにして農林水産業の発展に貢献するという使命を果たそうとしているのですか。

A 当金庫は、農林水産業の発展に貢献する使命を果たすため、食農・リテール・投資の3ビジネスを中心に多様な取組みを展開しています。具体的には、食農バリューチェーンに関わる様々な企業（食農関連企業）への資金供給やコンサルティング（食農ビジネス）、JA・JFと連携した地域金融サービスの提供（リテールビジネス）、さらには国際分散投資による安定的な収益確保と会員への還元（投資ビジネス）などに取り組んでいます。これらを通じて、農林水産業の持続的な発展を支えてまいります。

Q 農林水産業を持続的なものとするために取り組んでいることは何ですか。

A 農林水産業に影響を及ぼす気候変動や生物多様性などの環境・社会課題の解決も重要な課題ですが、こうした課題は、1社で解決することはできません。当金庫は、食農バリューチェーンを構成する様々な企業・アカデミア・行政等と連携、橋渡しを行うとともに、企業の取組みを金融面からサポートするサステナブル・ファイナンスや、農林水産業に由来するカーボンプレジット創出支援などにも取り組み、食農バリューチェーン全体で環境・社会課題に対するポジティブなインパクトを創出していくことに挑戦しています。